

白浜レスキューネットワーク通信 10月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

10月1日～10月31日

電話件数 90件

メール相談 3人

保護件数 2件(男性2名)

○男性を一人保護。警察から連絡があり、家族が迎えに来るまで保護することに。離婚後、仕事に行く気がなくなり、アパートも出て、車中暮らしを続けていた。白浜に来る2か月前に仕事も辞め、生きることに意味が見いだせなくなり、死を考えるようになった。

警察には自分で電話をかけて保護に至る。

夜に警察から電話をもらったが、朝まで警察で保護してもらおう。翌朝迎えに行き、お風呂に入れ、着替えの服を用意し、さっぱりしてから昼食をともに食べて、話を聞いた。その日の午後、母親が迎えに来てくれた。

○男性を一人保護。父親が病で亡くなってから、家族内で関係が悪化。仕事も行く気がなくなり経済的に逼迫する中、死を考えるようになった。家族から捜索願が出されたことを受けて、警察から問い合わせがあり、本人の確認のために警察がきた。帰りたくないとの意思を確認し、無事であることだけ母親に伝え、数日滞在して、今後について考えた。もう一度、頑張ってみようという実家に帰る決断をする。いつでも白浜に帰ってきていいという約束をした。頑張ってもダメだった場合、白浜でやり直すことになる。

生活自立支援活動

10月1日～10月31日

滞在者数 12人(男性10人、女性2人)

帰宅 2人

○ペット関連の仕事をしていた女性は、共同生

活を初めて2年になる。この間、精神科にかかりながら、まちなかキッチンでの訓練を受けてきたが、コンビニでのアルバイトをしてみようと面接に行った。11月に入ったら研修が始まることになった。

○お菓子屋さん勤めている男性は、最近不定期な休みに体を慣らすことに苦勞している。早く信用を勝ち取り正社員になれるように日々努力だと話している。

○月一回の通院をしながら、70代女性は、花のお世話や教会の中の掃除を頑張ってくれている。生活を楽しめるようになってきた感じだ。
 ○まちなかキッチンで訓練を受けている40代男性は、言葉で失敗するトラブルメーカーだったが、最近、意識が変わってきたのか、気をつけるようになってきた。毎日行っている交換ノートに書いてくることも的を得たものになってきた。今後は楽しみだ。

○今年初めに一年後には外に出て働こうと考えていた男性が、もうしばらくここにおらせて欲しいと少し考えが変わってきた。不安と自身のなさが出ているのかもしれない。まちなかキッチンでの訓練では、切れやすかった感情もずいぶんコントロールできるようになったし、責任を持つことに関しても上達してきた。さて、どうやって社会に戻すか考えていかなければ。
 ○豆腐屋とまちなかキッチンを掛け持ちしている男性は、まちなかキッチン終了後にもう一つ仕事を始めようかと考え始めている。着々と経済的自立に向けて頑張っている。

○まちなかキッチンで訓練を受けている20代前半の男性は、さらに経営を学びたいと今年一年延長して訓練を受けているが、来年も訓練を受けたいと言っている。しっかり本人の考えを

聞いて、今後について話し合いを持とうと考えている。

○先月、保護した男性は、今月警察と、地元の住民の方と、別々に2回、保護され、当NPOへ連絡が入った。死にたいと話し、とてもほっておけないということだった。精神的に不安定で散歩に出かけては、誰かが見ている前で死のうとしたようだ。

今月から行き始めたB型作業所は、真面目に行っている。また近くの総合病院にカウンセリングを受けに行ってる。

○ここでの生活が楽だと言った男性は、毎朝、教会の掃除や片付けをしてくれている。またまちなかキッチンでは、注文取りにも加わり、訓練の幅を広げている。

○19歳の男性は、まちなかキッチン内の惣菜から弁当部門に移ったことにより、彼の抱える問題点が明らかになってきた。自分が傷つかないように外部の情報をシャットアウトしてしまうところや、出荷作業を協力して行うひとつの歯車になりきれない協調性のなさなど、指摘されると貝のように自分の中に箆る。これからどう訓練していくかが問題だ。

自殺予防活動

・フードバンク&フードドライブ

10月に入り、今後、毎月一回第4火曜日に、食材を引き取りに行くことで、グルメシティ各店舗をお願いした。

田辺市在住に親子にお米や食材の援助を行った。

まちなかキッチンの無料のお弁当をひとりの男性に提供した。

・放課後クラブ・コペルくん

月曜日から金曜日まで、3~7名の子どもたちが利用した。

関わっている女の子の母親と、校長先生と一緒に、精神科の診察に行った。コペルくんでの女の子の様子などを伝えた。

白浜町の音楽祭にコペルくんに来ている子供たちが出るので、スタッフと一緒に見に行った。それぞれ頑張っている姿を見ることができた。

・コペルくん+

3名の子どもたちが火曜日、金曜日に、夜ご飯とお風呂まで面倒を見ています。

来ている3人は親類なので、コペルくんに来ている特別感が出ない。普段の家の人間関係がそのまま続くので、家とは違う環境にいるはずの効果が出にくいのが課題だ。

・夜コペ

中学生5人、高校生1人が、月、水、金の夜に勉強に来ている。高専生が支援に入って、高校生の勉強を見てくれた。

中間テストがあり、前日まで提出しなければならぬワークなどが出来ていない結果となり、夏休み明けからの運営の仕方に反省した。

12月に行われる期末テストの時には、事前に提出物のワークは終わり、わからないところを重点的に学んでテストに望めるようにしたい。

・相談電話

3日、10日、17日、24日、31日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・はじめ人間自然塾

石窯ピザにチャレンジ。

